

保育実習

～ 赤ちゃんの着替え・おむつ替え体験 ～

今年も家庭科の授業において、大学の講師の先生をお迎えし、3年生で保育実習を行いました。赤ちゃんとお母さんの触れ合うビデオを見たり、赤ちゃんの人形を使って着替えをさせたりおむつを取り替えたりする実習をしました。はじめはおむつの取り替え方も分からなかった生徒たちも、不慣れな手つきではありますが、おむつを取り替えることができるようになりました。きっと生徒達にとって貴重な体験であり、生徒達の生きる力を育む授業になったのではないかと思います。

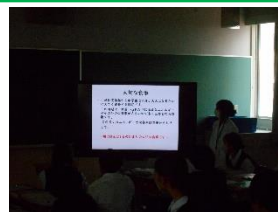


なぜ食事をするのだろう？

～ 家庭科と栄養教諭のコラボ授業 ～

家庭科の授業で、栄養教諭をゲストティーチャーに迎えて授業を行いました。

左の写真を提示し、「これは朝ご飯としてどう？」から始まった栄養教諭の授業。専門性の高い栄養教諭の話だけに、生徒達も今まで以上に真剣に耳を傾けていました。



けがをしたとき、包帯や三角巾がなかったら・・・

～ 保健体育の授業 ～

保健体育の授業で、けがをしたときの包帯法や直接圧迫法の仕方を学びました。しかし、災害が起こったとき、包帯や三角巾があるとは限りません。そこで、担当者が用意した様々な物を使って対処方法を考え処置をしました。生徒達は包帯代わりにラップを使ったり、三角巾代わりに買い物袋を使ったりと様々な工夫をしていました。万が一の時に中学生が地域の方々の役に立つ存在であってほしいと思っています。



校内授業研修会

～ 埼玉県や宮城県からも・・・ ～

11月1日(水)、本年度3回目のスーパーバイザーをお迎えしての授業研修会を実施しました。今回は埼玉県や宮城県からの視察の先生方もお越しいただきました。生徒達は、数多くの先生方が参観している中でも、普段通り、グループで助け合いながら課題に向き合っていました。

協議では、グループ内での話し合いの深まりや学びから逃避しようとしている生徒の支援方法などについて話し合われました。協議の内容やスーパーバイザーのアドバイスを今後の授業に生かしていきたいと思えます。



健康診断結果

～ 視力の低下が心配です！ ～

今年度の健康診断の結果がまとまりましたので裏面に掲載します。やはり心配なのは「視力」です。中でも、裸眼視力Dの生徒が全体で約7%。人数にすると41人もいることが心配です。黒板の字の見え方などについてお子様と話しみていただきたいと思えます。

令和5年度 定期健康診断の結果について

